

E検定のご紹介

2025/6/27更新

日経BPマーケティング

技術者視点

- どのスキルを高めていけばいいのか曖昧で、目標設定が定まらない。
- スkill向上へのモチベーションが上がらない。
- 社内で研修制度がなく、上司の教えのみでスキルを身につけている。
- 他者と比較した自分の技術レベルが分からない。

人事・教育 担当者視点

- 人材育成のプログラムが現場任せになっているため新しく構築したい。
- OJT制度はあるものの、部門ごとに教育方法や基準が曖昧なため、個人ごとに身につけている知識やレベルにばらつきがある。
- 面談や人事評価に活用できる、共通のものさしがほしい。
- 人材育成のサポートが充実している、ポジティブな組織風土をつくりたい。

人材育成

企業の技術課題・目標に沿い、現状のスキルを把握し、不足している点を強化



動機向上

技術者は自身のスキルレベルを把握できるため、学習意欲の向上が期待できる



人材戦略

現状の人材構成の理想像と現実のギャップを明らかにして、今後の戦略に役立てる



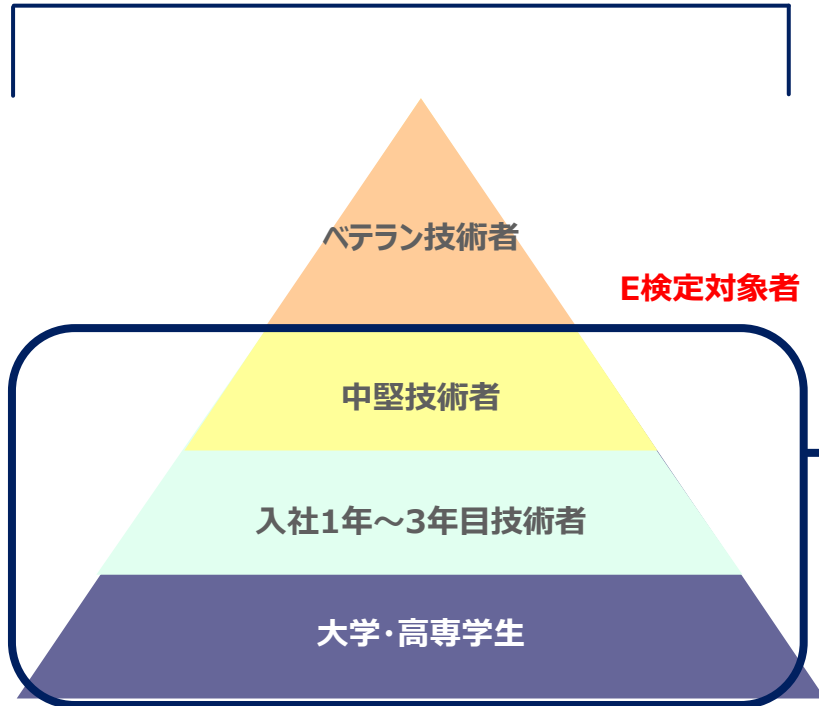
※ 評価・面談

目標設定の一つの指標として活用
E検定の結果のみで評価を行う事は難しいが、
一部の指標として活用する（ものさし）

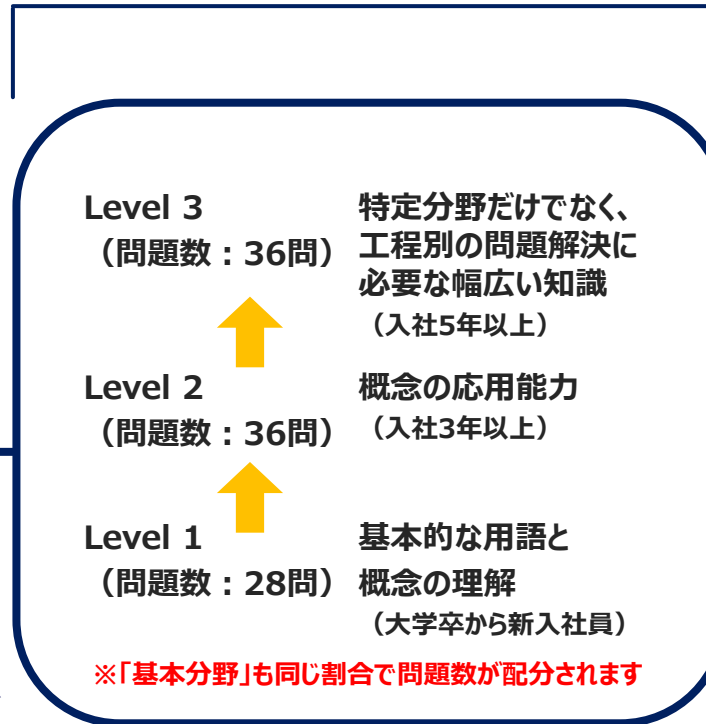


E検定の試験対象・分野・科目

技術者層



レベル基準



出題範囲

- 電子回路
 - デジタル
 - 電気回路
- ※上記3分野を
「基本分野」とします
- 半導体
 - 電磁気
 - 実装
 - 信頼性設計
 - 計測
 - コンピュータ

～受験コース～（選択式）

- ▶すべての分野（9分野）を受験いただく **「全分野コース」**
- ▶電子回路・電気回路・デジタルの3分野に限定した **「基本分野コース」**

E検定の試験内容

試験方式	筆記 マークシート方式（4者択一形式）
受験コース	以下の2コースから選択していただきます。 ・「全分野コース」100問・全9分野（時間：180分間） ・「基本分野コース」64問・基本3分野（時間：120分間）
試験結果	試験結果が学習とスキルアップにつながるよう、成績表では全受験者との総合点比較のほか、得意分野・弱点 の分析およびレベル1～3それぞれの結果を掲載します。不得意分野をなくして、エレクトロニクス全般でバランスのとれた知識を獲得する参考となります。 成績表のほか、受験されたすべての方に受験証明書をお送りするとともに、成績優秀者にはスキルの総合的なレベル認定証をお送りいたします。

全分野のスキルレベル		
得点	称号	スキル評価
65点以上	エバンジェリスト	エレクトロニクス技術の伝承者として、社内・業界に貢献できる。
55～64点	シニアエキスパート	リーダーとしてグループを統制するのに必要な知識を持ち分析して改善できる。
45～54点	エキスパート	メンバーとして要求される作業を独力で実践できる。
0～44点	なし	

基本分野のスキルレベル		
得点	称号	スキル評価
50点以上	特級	特定分野でエレクトロニクス技術の伝承者として、社内・業界に貢献できる。
40～49点	上級	特定分野でリーダーとしてグループを統制するのに必要な知識を持ち分析して改善できる。
30～39点	中級	特定分野でメンバーとして要求される作業を独力で実践できる。
0～29点	なし	

個人受験・団体受験ともに可能
年2回開催（東京・大阪）
筆記 マークシート方式

①公開試験
（企業派遣）

5名から申込可能
企業単位で受験日時/場所を指定
【筆記試験】【Web試験】から選択

②オンサイト試験
（企業内実施）

※日経BPマーケティングでは、いずれの試験方法においても法人申込として5名から承ります。

E検定 公開試験の概要

日時	春（5月）・ 秋（11月） の2回開催		
会場	東京会場（有楽町電気ビル北館）、大阪会場（サムティフェイム新大阪）		
方式	筆記 マークシート方式		
提供物	受験票、採点実施および各受験者向け成績表、認定証 ※企業派遣の場合は、受験者の結果を法人ご担当者様に一括納品することも可能です。		
金額	申込人数	いずれかを選択してください。	
		全分野コース/一人当たり	基本分野コース/一人当たり
	5～9人	¥11,000	¥8,800
	10～50人	¥10,450	¥8,360
	51～100人	¥9,900	¥7,920
	101～200人	¥9,350	¥7,480
	201人以上	別途見積もり	別途見積もり

※ 上記はすべて税込価格となります。

E検定 オンサイト試験の概要

日時	お好きな試験日時で実施いただけます（※公開試験前後の20日間を除きます）			
会場	自社の会議室等、お好きな場所で実施いただけます。 ※料金には会場施設利用料は含まれておりません。会場は貴社にてお手配くださいますよう、お願いいたします。			
方式	【筆記試験 マークシート方式】 または 【WEB試験】			
提供物	◆筆記試験の場合：試験資材（試験問題集、マークシート問題解答用紙、アンケート用紙、マークシートアンケート解答用紙、計算用紙） ◆WEB試験の場合：受験者用ID・PW ◆共通：試験官マニュアル、採点実施および各受験者向け成績表、認定証、アンケート解答集計結果データ ※結果は管理者様へ一括で通知			
金額	申込人数	運営・管理費	いずれかを選択してください。	
			全分野コース/ 一人当たり	基本分野コース/ 一人当たり
	5～9人	¥55,000	¥11,000	¥8,800
	10～50人	¥82,500	¥10,450	¥8,360
	51～100人	¥110,000	¥9,900	¥7,920
	101～200人	¥137,500	¥9,350	¥7,480
	201人以上	別途見積もり	別途見積もり	別途見積もり

※上記はすべて税込価格となります。

E検定 試験結果データ（成績表）

ニッセイ
E検定

電気・電子系技術検定試験

試験日 2020/9/11(金)

氏名 サンプル

受験番号 201200101

会場 オンライン

成績表発行日 2020年9月30日

偏差値

51.5

成績表

E検定 ～電気・電子系技術検定試験～（基本分野） 2020春

	2020年度受験者 得点	2020年度受験者 平均値	2020年度受験者 最高
正答数	31	30	29
誤答数	33	34	35
未回答数	0	1	0

■正答数分布

■レベル別詳細結果

レベル	2020年度受験者 得点	2020年度受験者 平均値	2020年度受験者 最高
1(10問)	12	10	16
2(24問)	12	12	21
3(24問)	7	8	15

レベル別正答率

分野別・レベル別正答率

■総合評価

レベル1の正答率が最も高く、全体的に高い基礎レベルの知識を習得されています。ただし、分野毎の結果を見ると、レベル1の正答率に若干の差がありますので、総合力の基礎固めを行えます。

■分野別評価

分野	電子回路	デジタル	電気回路
基礎レベルの知識を習得されていることが伺えます。ただし、基礎の応用である『ダイオードの温度特性』の設問や、問題解決に必要な知識である『バイポーラトランジスタの低雑音化』の設問などが不正解でした。	基礎レベルの知識を習得されていることが伺えます。ただし、基礎の応用である『2つの補数表現』の設問や、問題解決に必要な知識である『論理回路の簡略化』の設問などが不正解でした。	一定の知識の応用力をお持ちです。ただし、基礎知識である『キルヒホッフの第2法則』の設問や、基礎の応用である『コンデンサの誘電正接』の設問などが不正解でした。	

サンプル

■採点結果(○＝正解、×＝不正解、未＝未回答)

出題分野	問題番号	レベル	採点結果	回答	正解	
電子回路	1	1	×	エ	ウ	
	2	1	○	ウ	ウ	
	3	1	○	イ	イ	
	4	1	○	エ	エ	
	5	1	○	ア	ア	
	6	1	○	イ	イ	
	7	2	×	エ	イ	
	8	2	○	ウ	ウ	
	9	2	○	ア	ア	
	10	2	○	イ	イ	
	11	2	○	イ	イ	
	12	2	×	イ	エ	
	13	2	×	イ	エ	
	14	2	○	イ	イ	
	15	3	×	ウ	イ	
	16	3	○	ウ	ウ	
	17	3	×	ウ	エ	
	18	3	×	エ	ウ	
	19	3	○	ウ	ウ	
	20	3	×	ア	ウ	
	21	3	×	ウ	ア	
	デジタル	22	3	○	ウ	ウ
23		1	○	ア	ア	
24		1	×	エ	ア	
25		1	○	ウ	ウ	
26		1	○	エ	エ	
27		1	○	イ	イ	
28		1	○	エ	エ	
29		2	×	ア	エ	
30		2	○	イ	イ	
31		2	×	イ	ア	
32		2	×	エ	イ	
33		2	○	エ	エ	
34		2	×	ウ	イ	
35		2	×	エ	ア	
36		2	○	イ	イ	
37		3	○	ウ	ウ	
38		3	×	イ	ウ	
39		3	×	ウ	イ	
40		3	×	ア	イ	
41		3	○	ウ	ウ	
電気回路		42	3	×	イ	ア
		43	3	×	イ	エ
	44	3	○	イ	イ	
	45	1	×	イ	ア	
	46	1	○	イ	イ	
	47	1	×	エ	イ	
	48	1	○	ウ	ウ	
	49	2	×	イ	ウ	
	50	2	○	イ	イ	

- ・他社技術者との比較
- ・分野別の評価
- ・レベル別の評価

全分野、基本分野どちらもご用意がございます。

日経BPマーケティング

9

Copyright(c) 2025 Nikkei BP Marketing. All Right Reserved

お申込・ご請求のフロー

①公開試験 (企業派遣)

①受験コース・人数・会場の希望連絡



②受験名簿フォームへの記入・返送



③受験票のご送付

②オンサイト試験 (企業内実施)

①受験コース・人数・受験日・筆記またはweb
の希望連絡



②受験名簿フォームへの記入・返送



③筆記試験資材またはweb受験案内の
ご送付

試験実施月にご請求書を発行します。お振込み期限は翌月末です。

レベル1 受験パック は、**レベル1 受験チケット** と **eラーニング** がセットになったパックです。 **¥30,800（税込）**

E検定 レベル1 エントリー試験（1 回分）

- 時間：65分
 - 実施日：通年開催（祝日・年末年始休業を除く）
※有効期間は1 年間です。
 - 会場：47都道府県、約110都市の試験会場から選択
※試験会場の情報については[こちらからご覧いただけます](#)
 - 問題：E検定9分野のレベル1 問題のみ（32問）
 - 結果通知：試験終了後に試験結果が画面に表示されます。
またメールにてスコアレポートを提供します。
- ★正答率70%以上の方に**認定証**を発行します。

+ eラーニング（6か月）

講座名	収録項目
電子回路	17項目
デジタルとコンピュータ	20項目
電気回路	9項目
半導体	6項目
電磁気	9項目
実装	11項目
信頼性設計	7項目
計測	7項目

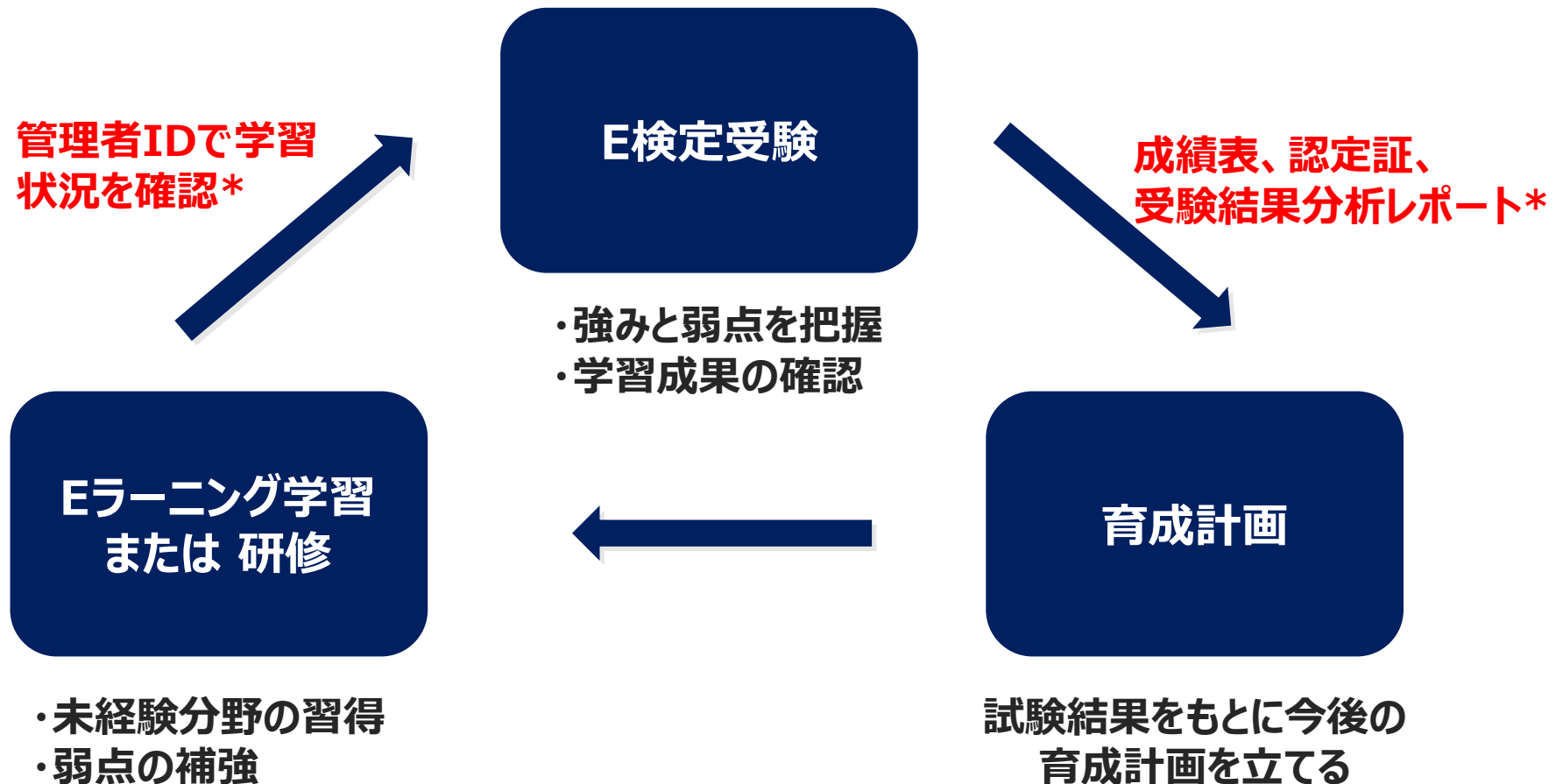
・レベル1受験パックでは、バウチャーコードを発行します。受験時にバウチャーコードを入力することで受験料を決済することができます。
・E検定の試験科目「デジタル」と「コンピュータ」は、eラーニングでは「デジタルとコンピュータ」の1科目にまとめています。

【参考資料】

E検定の効果的な活用

E検定を活用した技術者スキルアップ例

E検定で弱点を把握し、自社・社員の技術力向上の育成計画を立て、スキルアップに必要な科目をEラーニング学習で補強、そしてその学習成果をE検定で確認、というように技術力を向上させ、スパイラル式に技術者レベルを上げることができます。



※Eラーニングの管理者IDを希望の場合、無料で発行します。

※「受験結果分析レポート」はオプションメニューです。

分類	講座名	収録項目・問題数	学習時間目安	受講料/人（税込）
電気・電子系	1. 電子回路	48項目150問以上	14時間	¥12,100
	2. デジタルとコンピュータ	47項目150問以上	13時間	¥12,100
	3. 電気回路	28項目100問以上	9時間	¥12,100
	4. 半導体	28項目150問以上	9時間	¥12,100
	5. 電磁気	22項目120問以上	6時間	¥8,800
専門系	6. 実装	26項目120問以上	7時間	¥8,800
	7. 信頼性設計	12項目70問以上	3時間	¥8,800
	8. 計測	27項目150問以上	9時間	¥8,800
機械系	9. 材料	19項目100問以上	6時間	¥8,800
	10. 加工	22項目100問以上	7時間	¥8,800
	11. 機構設計	27項目150問以上	9時間	¥12,100

- 上記1～5の電気・電子系5講座は、「**電気・電子系コース**」（税込57,200円）としても販売しています。
- 上記1～8の電気・電子、専門系の8講座は、「**完全パックコース**」（税込83,600円）としても販売しています。

※E検定の試験科目「デジタル」と「コンピュータ」は、本講座では「デジタルとコンピュータ」の1科目にまとめています。
 ※電気・電子系、専門系の各講座はレベル1～3で構成されています。機械系の講座はレベル1～2で構成されています。
 ※機械系科目はE検定の出題範囲外です。

新人・若手社員におすすめ！レベル1 パック

パック名	内容	価格/1人(税込)
レベル1学習パック	レベル1 学習 8 科目パック ◆科目：電子回路、デジタルとコンピュータ、電気回路、電磁気、半導体、実装、信頼性設計、計測 ◆項目数：86、学習時間目安：30時間	¥22,000
	レベル1 学習 1 1 科目パック ◆科目：電子回路、デジタルとコンピュータ、電気回路、電磁気、半導体、実装、信頼性設計、計測、材料、加工、機構設計 ◆項目数：119、◆学習時間目安：35時間	¥36,300
レベル1受験パック	8科目のレベル1のeラーニング+レベル1試験 ◆科目：電子回路、デジタルとコンピュータ、電気回路、電磁気、半導体、実装、信頼性設計、計測	¥30,800

※受講期間：eラーニングは6か月間、レベル1 試験チケット有効期間は1年間です。
※受講人数：各パック5名から承ります。

E検定 試験とeラーニングの対応マップ（おすすめ）

E検定 ～電気・電子系技術検定試験～

基本分野試験

（電子回路、デジタル、電気回路の3分野が試験範囲）

全分野試験

（9分野すべてが試験範囲）

【試験方法】

- ・年に2回の公開試験
- ・時間や場所を決められるオンサイト試験

電子回路

デジタル*

電気回路

半導体

電磁気

実装

信頼性設計

計測

コンピュータ*

材料

加工

機構設計

「電気・電子」「機械」技術eラーニング

全11講座、1講座から申込可能

各講座はレベル1～3で構成されています。

※E検定の試験科目「デジタル」と「コンピュータ」は、eラーニングでは「デジタルとコンピュータ」の1科目で提供します。*

全分野試験の対策におすすめ

「完全パックコース」

新入・若手社員におすすめ！
レベル1のみを抽出したパック

レベル1学習8科目パック

受験チケット+eラーニング

レベル1学習11科目パック

E検定とeラーニングの対応表

※E検定の試験科目「デジタル」と「コンピュータ」は、eラーニングでは「デジタルとコンピュータ」の1科目にまとめています。

※各講座の受講期間は6か月です。※合計人数5名から承ります。

				【参考】E検定試験の出題範囲	
	分野	講座名	講座のレベル	全分野試験	基本分野試験
個別講座 (1講座から申込可能)	電気・電子系 ◆	1. 電子回路	レベル1～3	○	○
		2. デジタルとコンピュータ	レベル1～3	○	○
		3. 電気回路	レベル1～3	○	○
		4. 半導体	レベル1～3	○	
		5. 電磁気	レベル1～3	○	
	専門系 ▲	6. 実装	レベル1～3	○	
		7. 信頼性設計	レベル1～3	○	
		8. 計測	レベル1～3	○	
	機械系 ●	9. 材料	レベル1～2	—	—
		10. 加工	レベル1～2	—	—
		11. 機構設計	レベル1～2	—	—
個別講座のまとめ申込	◆	電気・電子系コース（1～5の5講座）	レベル1～3		
	◆▲	完全パックコース（1～8の8講座）	レベル1～3		
新入・若手社員や、 専門歴が浅い方におすすめ	◆▲	レベル1 受験パック	1～8の8講座、レベル1のみ		
	◆▲	レベル1学習8科目パック	1～8の8講座、レベル1のみ		
	◆▲●	レベル1学習11科目パック	1～11の11講座、レベル1のみ		

会社名	株式会社サートプロ
設立	2006年3月3日
事業内容	■Certification（資格検定事業） ・資格認定・検定試験事業化支援 ・試験配信システム開発・導入支援 ・問題作成システム開発・導入支援 ・事務局運営アウトソーシング ■Professional（人材育成・教育支援事業） ・人材育成・教育支援 ・マルチデバイス技術者養成講座 ・組込み・IT技術者育成 ■Consulting（コンサルティング事業） ・マルチデバイス向けアプリ開発 ・評価・サンプル・プロモーションアプリ開発(Android, iOS, WindowsPhone, etc) ・技術者スキル標準策定支援 ・教育教材・コンテンツ・書籍開発 ・普及・啓蒙活動とプロモーション ■メンタルヘルスケア事業
代表取締役CEO	近森 満氏
加盟団体	公益財団法人 画像情報教育振興協会（CG-ARTS協会） 社団法人組込みシステム技術協会（JASA） 社団法人コンピュータソフトウェア協会(CSAJ) 一般社団法人 Open Embedded Software Foundation(OESF) 一般社団法人 データサイエンティスト協会 一般社団法人 IT職業能力支援機構(IT-CASA) 東京商工会議所 Knowledge & Technology Information Network(KT-NET) IoT検定制度委員会(IoTee) PHP認定インテグレーター (BOSS-CON JAPAN) アジャイルソフトウェア開発技術者検定試験コンソーシアム NPO法人組込みソフトウェア管理者・技術者育成研究会(SESSAME) 電気・電子系技術者育成協議会
住所	■本社 ■代々木研修センター 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-36-6 代々木駅前ビル7F TEL：03-6276-1168／FAX：03-6276-1169

ご挨拶

技術者向け資格試験・認定制度の企画・開発・運営等の教育支援業務を事業の中核としています。人材育成の教育支援事業を通して、今後の日本のものづくり技術やユビキタス社会の発展に寄与し、ひいては日本のものづくりのカルチャーを世界に発信することを目標にしています。

ミッション・ステートメント

プロフェッショナルな新しい資格試験プログラムの企画・立案、構築、マーケティング、プロモーション、運営事務等を行い、新しい技術やスキルの普及・啓蒙活動、技術者への技術習得支援の実施、技術スキルの評価・認定事業に対するマーケットモチベーション向上を通じて、社会に貢献することをミッションとしていく会社であること、その想いを社名としています。

詳細・プラン内容・費用に関するお問合せ

株式会社日経BPマーケティング
法人営業ユニット 法人営業第三部

E-mail : kenshu@nikkeibp.co.jp